



粘り強く

やっつていこうと思う。

このまちが好きだから。

おしま屋
古田ゆかり

商店街のなかで三代つづく家具屋を引き継ぐことになった。

「子どものころ、めまぐるしいまでの繁盛ぶりだったのを覚えていますが……」

残念ながら、その勢いが失われていることを認めざるを得ない。

結婚し、母となった。今から思えば、それが大きなきっかけとなった。

「自分たちの子どもの世代に、元氣あふれるまちを受け渡さなければいけない」

痛切にそう思った。商店街の人びとと熱心に語り合い、模索を始める。

家具カフェ、という形態を試みたのもその一環だ。家具屋の一角にカフェを設ける、あるいはカフェでありながら家具も販売する。

野菜ソムリエの資格を取った。そうだ、阿蘇の素材を生かしたメニューはどうだろう。阿蘇野菜のスムージーである。大ヒットとはいえないまでも、手応えは感じている。

粘り強く、あきらめずやっつていこうと思う。

その思いを支えている力は？
「そうですねえ、やっつぱり、このまちが好きだから」



見かけは
その人の
心のドアだ。

Grand・Zero
中村洋史

ファッション雑誌『メンズノンノ』が創刊となったのは中村洋史さんが中学生のときだった。

むさぼるように読んでいたというから、すでに洋服というものの身近な文化に心を奪われていたにちがいない。

社会人となり熊本市の金融機関で多忙な日々を送っていたのも、

「いずれ来るそのときのために経営を学ぼう、という気持ちもありました」

すでに着実な人生設計のなかにあったのだ。

三十歳のときに生まれ故郷の阿蘇に戻り、妻と二人で洋服屋SNOOPを創業。

一年後にオープンしたこのGrand・Zeroは姉妹店ということになる。

創業店がレディースとキッズ専門店であるならば、こちらは「おとなの遊び着」。

根強いファンは、店主のセンスと人柄を信頼して時折ふらりと立ち寄る。

洋服の力とは何かを考えるとき、いつも基準としているのはこんな思いだ。

「人は見かけじゃないというけれど、見かけはその人の心のドアである」

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局(阿蘇市観光課)
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
A s o C i t y

●阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。

※掲載された内容は取材当時のものです。

2019.6 広報あそ

2

今月の主な内容・CONTENTS

- 4 特集 災害から身を守る
- 10 まちの話題
- 12 市役所からのお知らせ
- 20 阿蘇医療センター通信 Vol.44
- 21 阿蘇サイクルツーリズム通信 Vol.21
- 22 人権作文 高橋 正弘さん
- 23 図書館へ行こう！
- 24 暮らしの情報
- 26 子育て支援センター情報
- 27 お慶び ご寄付
- 28 故郷で働く 東 慶国さん
- 29 地産地消クッキング アスパラとジャガイモのマヨバター炒め
さわやかフレッシュマン 田端 宏次さん
- 30 6月カレンダー

今月号の表紙

阿蘇中央高校の「第8回五岳祭」が5月11日に阿蘇清峰校舎で開かれました。写真は3年生のクラス対抗リレーの様子。それぞれのチームがつかないバトンは生徒からアンカーの先生に託されます。接戦に会場は興奮に包まれました。



市役所からのお知らせ (12~19)

農業委員会からのお知らせ／農作物被害防止のための電気柵資材費と狩猟免許取得費用補助／お金や家族の問題など相談支援を行っています／令和元年度阿蘇市区長会の体制が決定／初盆名簿の作成にご協力ください／地域団体の花いっぱい運動を支援します／風しん第5期予防接種を無料で実施します／児童手当現況届の提出期限は6月28日(金)／7月から市役所・病院・保育園などが敷地内禁煙になります／市職員募集／夏のジオサイトと阿蘇火山博物館／7月から阿蘇市内路線バスの一部路線が変わります。

暮らしの情報 (24~25)

「第61回金婚夫婦表彰」該当者受付のご案内／食べることは生きること6月は食育月間です／消費税率引き上げに伴う事業者支援措置／労働保険年度更新手続きは6月3日から7月10日まで／碧水ホテルの里ホテルツアー／障がい者相談／法律相談／心配ごと相談／こころの健康相談／登記相談／消費生活相談／あそ若者しごと相談会／年金出張相談／認知症カフェ

夢を追いかける青少年の声を届けます ー

夢を追いかけて

私の将来の夢は、美容師になることです。母と一緒に美容室に行く機会があります。その美容師さんはとても話しやすく、その人にあった髪型にしてくれます。その姿を見て、終わったあとにみんなが笑顔で帰ってくれるような美容師になりたいと思いました。

美容師になるためには資格が必要なので、勉強をがんばりたいです。また、だれとでも気軽に話ができるようになるためにも、自分から積極的に話しかけていきたいです。

兎玉 蒼空

こだま そら／波野中学校・3年